



DXPの「勝手にDX」提案《概要版》

自律型産業オーケストレーションへの構造転換

NTT「グローバルソリューション事業 (NTTデータ)」における抜本的なデジタル変革提案

株式会社DXパートナーズ

2026年1月7日

DXの科学

ルールチェンジャーになれ

ゲームチェンジ(戦術)

既存ルール下でのデジタル活用による業務改善。最終的には価格競争のレッドオーシャンに帰結します。

ルールチェンジ(戦略)

デジタルを前提に自らルールを発明し、新規ビジネスを創出。自社が定義した価値基準で市場を支配するブルーオーシャンの創出です。



現状診断: アナログ時代のビジネス

1

リニアな成長構造

売上高の成長が従業員数(約198,000人)の増加と強い正の相関。人の数という物理的制約に縛られた典型的な労働集約型モデルです。

2

個別最適化の価値提供

顧客ごとにカスタマイズされたシステム構築。1対1の労働対価モデルで、ネットワーク効果は希薄です。

3

限定的なアセット活用

効率化ツールとしての位置づけに留まり、ビジネスモデル自体をノンリニアに変えるエンジンになっていません。

診断結論: デジタル技術を扱っているものの、ビジネスモデルの構造自体は「アナログ時代の、アナログを前提にしたビジネス」です。



ルールチェンジなき未来予測

1

生成AIによる人月ビジネスの崩壊

GitHub Copilot等により開発工数が激減。「AIが数秒で書けるコードに、なぜ高い人月単価を払うのか?」という顧客の疑問が噴出します。

2

顧客による内製化とSlerの中抜き

AIの民主化により、事業会社が自社開発を容易に実施。Slerは単なる「インフラ保守屋」へと地位低下するリスクがあります。

3

利益率の低迷と「貧しい巨人」化

人件費高騰により、目標のEBITAマージン10%達成は困難。規模は大きいが利益率は低い状態に陥ります。

4

デジタル破壊者による市場蚕食

ハイパースケーラーが上位層に進出。Slerは「クラウドの再販業者」に成り下がり、付加価値はプラットフォーマーに奪われ続けます。



🚀 新ビジネス提案

Autonomous Industry Orchestration Cloud (AIOC)

NTTデータは「顧客のシステムを作る会社」から、「産業そのものを自律的に運営・調整する場の提供者」へと変貌します。



IOWN基盤

光速・低遅延・低消費電力の革新的物理インフラ



tsuzumi AI

国産軽量LLMによる自律型AIエージェント群



デジタルツイン空間

企業間取引が人間介在なしで完結する自律空間

AIOCの価値創造メカニズム

摩擦ゼロの産業運営

- IOWNによる1/200の超低遅延実現
- AIエージェント間の自律的交渉・取引
- 需給予測から決済まで瞬時完了
- 人間による調整コストをゼロ化

全体最適化とサステナビリティ

- サプライチェーン全体の同期最適化
- 100倍のエネルギー効率を実現
- Scope 3でのCO2排出量削減
- 環境負荷を最小化する産業OS



デジタル時代の5つの顧客価値



交換価値・使用価値

在庫削減、リードタイム短縮、物流コストダウンによる直接的な経済効果を実現します。



体験価値

無選択型意思決定により、意思決定ストレスから解放。AIが最適解を提示・実行します。



共感価値

AIOC利用自体がカーボンニュートラルへの貢献となり、持続可能な産業社会への参画意識を満たします。



知覚価値

IOWN最先端技術の利用による先進性と、NTTデータのセキュリティへの絶対的信頼感を提供します。

ツインターボ顧客価値創造エンジン

ターボチャージャー1

高速・高頻度・高成功率

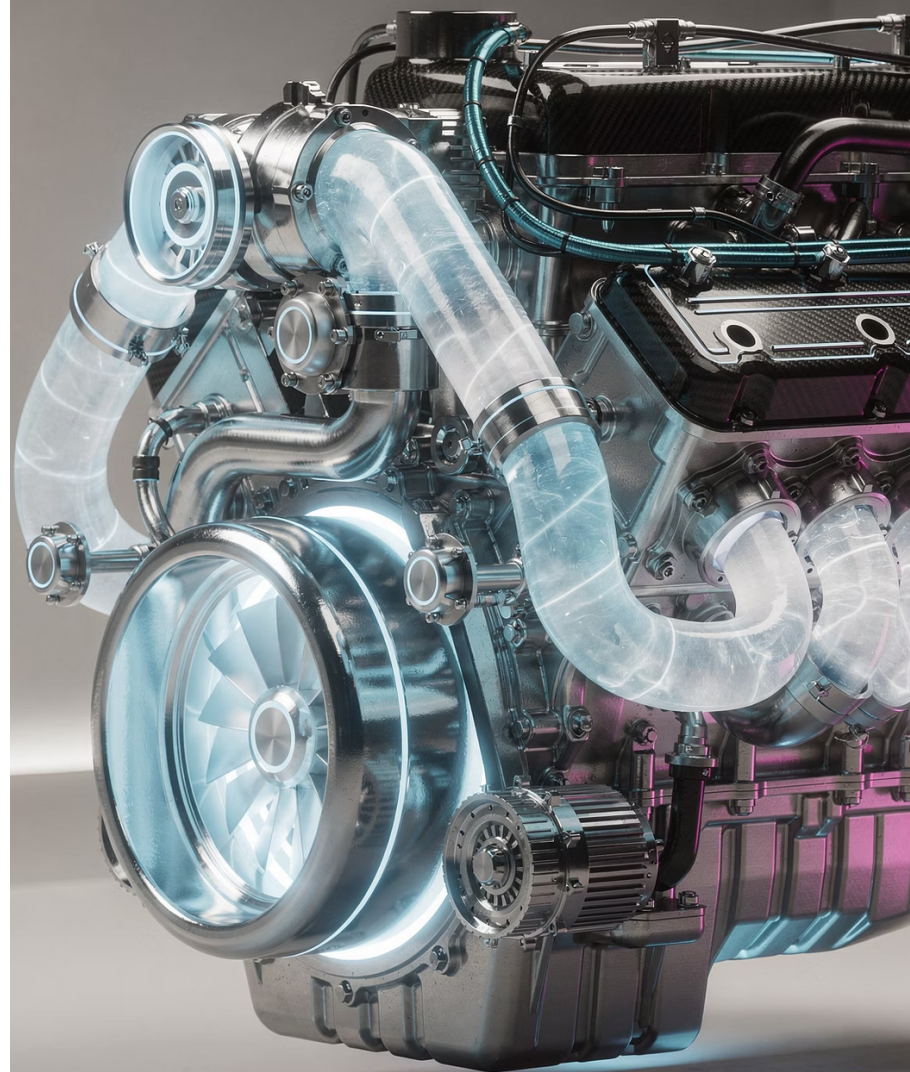
軽量LLM「tsuzumi」を大量配置し、要件定義から運用までのサイクルを秒単位に短縮。24時間365日休まず改善を継続します。

ターボチャージャー2

ネットワーク効果による自己増幅

IOWNデジタルツイン上のエコシステム全体へ拡張。参加者増加により最適化精度が向上し、競合不可能な参入障壁を構築します。

労働力を増やさず、取引量とデータ量の増加だけで価値と収益が増大するノンリニアな成長を実現します。





競合優位性: IOWN × tsuzumi × SI力

1/200

超低遅延

IOWNによる圧倒的な遅延削減で、リアルタイム制御を実現

100倍

エネルギー効率

光技術による電力効率で環境負荷を最小化

20%超

目標利益率

現在の7-8%からプラットフォーム企業基準へ

物理的参入障壁: IOWNの光ネットワークは、ソフトウェア企業が容易に模倣できない差別化要因です。tsuzumiによる主権型AIは、データセキュリティと各国規制に完全対応します。



経営層への提言

Make the Rule Change

生成AIと自律エージェントの台頭は、現在のビジネスモデルを根本から無価値化する可能性を秘めています。

01

現状認識

AIを使った効率化だけでは不十分。それは競合も同様に行い、価格競争に帰結します。

02

ルールチェンジの実行

IOWNとtsuzumiを組み合わせ、人間が介在しなくても産業が自律的に回る世界を構築してください。

03

産業OSの創造

システムを作るのではなく、産業のOSを作る。レッドオーシャンの外側に、独自のブルーオーシャンを創出してください。

恐れず、自らの手で自らのビジネスモデルを破壊し、再創造してください。システムインテグレーターからデジタル社会のオーケストレーターへ。